

## 審議会等の会議結果報告書（ホームページ公開用）

【担当課】 総務課

会議の名称	茅野市人権尊重審議会		
開催日時	令和4年6月17日（金） 午前9時～午前10時45分		
開催場所	茅野市役所8階大ホール		
出席者	<p>【審議会】 宮下委員、樋口（和）委員、竹内委員、樋口（雅）委員、小池委員、矢島委員、宮下委員、守屋委員</p> <p>【事務局】 市長、有賀総務部長、平澤健康福祉部長、田中総務課長、井出企画課長、牛山DX推進課長、小池地域創生課長、北澤市民課長、矢嶋パートナーシップのまちづくり推進課長、守屋地域福祉課長、平沢高齢者・保険課長、小穴健康づくり推進課長、大蔵商工課長、阿部こども課長、笹岡幼児教育課長、渡辺学校教育課長、竹内生涯学習課長、荒井地域福祉課福祉21推進係長、原田総務課行政係長</p>		
欠席者	山室委員		
公開・非公開の別	公開	非公開	傍聴者の数
			1人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
今井市長	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱書交付 今井市長から新任委員に委嘱書が交付される。</p> <p>3 市長挨拶 皆さんおはようございます。お忙しい中、早朝からお集まりいただき、誠にありがとうございます。日頃から委員の皆さんには、茅野市の人権に関することについてご協力いただき、ありがとうございます。</p> <p>ただいま、3名の方に新たに委員の委嘱をさせていただきました。引き続き、よろしく願いいたします。</p> <p>茅野市は、平成8年に「人権尊重都市宣言」を行い、平成12年に「茅野市人権尊重に関する条例」を制定し、差別というものをなくしていこうという活動を行ってきました。ここ3年程の間、コロナ禍が続き、SNS等を中心に、様々な噂話、誹謗中傷といったものが行われてきました。特に、最初の1年目、2年目は、心を病んだ方もいらっしゃって、そうしたことが社会問題化したこともありました。茅野市で、そうしたことが全くなかったわけではないと思いますが、市民の皆さんは、理解があって大きな問題にならずに済んだのではないかと、思っています。市民一人ひとりの人権に関する意識がいかに重要であるか、この3年間でつくづく感じました。人権について、常に皆で考え、行動していくということがいざという時に生きてくるということを実感したわけでありまして、そうした中、世の中はどんどん移り変わっていくわけでありまして、先般、国会でLGBT法案が可決、成立しました。こうしたことをみんながしっかり考え、行動していくことが、我々に求められていると思っていま</p>		

	<p>す。</p> <p>本日、皆様には、令和5年度の茅野市の人権尊重に関する施策についてご審議いただくわけであります。女性、子ども、高齢者など、様々な分野で施策を取りまとめてあります。委員の皆様からご意見をいただきますよう、お願い申し上げます。</p> <p>委員の皆様には、これらの施策がより良いものになるよう、お力添え、お知恵をいただきますよう、お願い申し上げます、ご挨拶に変えさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>4 委員及び職員自己紹介 (名簿に従い、委員、職員が自己紹介を行う)</p> <p>5 審議事項</p> <p>それでは、ここからは会則に従いまして私が議事を進めさせていただきますが、不慣れでございますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>本日予定されております案件は、お手元にお配りした次第のとおりであります。順を追って事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(1)「審議会等の会議の公開について」</p> <p>まず、(1)「審議会等の会議の公開について」を事務局から説明をお願いします。</p> <p>(資料に従い、審議会等の会議の公開について説明。)</p>
会長	<p>ただいまの事務局からの説明について、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>(特に発言はなかった)</p>
会長	<p>それでは、この会議の内容について非公開とする事由に該当するものがございませんので、この審議会は公開ということでよいでしょうか。</p> <p>(異議はなかった)</p>
会長	<p>それでは、本会議は公開していくことで決定しました。</p>
会長	<p>(2) 令和5年度茅野市の人権尊重に関する施策について(案)</p> <p>続きまして「審議事項」の(2)「令和5年度茅野市の人権尊重に関する施策について(案)」を事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料に従い、事務局から令和5年度人権尊重基本方針等について、順に説明を行う。)</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいまの事務局の説明について、何か意見、質問等ございましたらお願いします。最初に、ただいま説明のあった</p>

	<p>内容について、ご意見や質問をいただき、その後、感想などをお聞かせいただきたく思います。</p> <p>まず、説明のありましたそれぞれの施策につきまして、何かございますでしょうか。</p> <p>(特に意見、質問は出なかった)</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、ただいまご説明いただいた施策につきまして、了承したということでしょうか。</p> <p>(異議はなかった)</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、この施策のとおり推進していただきたいと思います。せつかくの機会でございます。それぞれのお立場でお気づきになっていること、お感じになっていること、ひと言ずついただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ヤングケアラーと言って、まだ小さいのにおうちの方の面倒を見たりする子どもたちが茅野市にどのくらいいるのか、お聞きします。そういう子どもたちは、どうしても進路などに支障が出てしまいます。自分の時間や睡眠時間も十分に取れないのではないかと心配しています。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和3年度に、子どもと保護者に生活実態調査を行いました。その中で、8%くらいの子どものがヤングケアラーに該当するかも、という結果が出ました。調査の対象者が、小学校5、6年生と中学校2年生と高校生で、全体を網羅した数字ではありません。昨年度、県で実施した調査では、茅野市内の小中学校で、15～16人くらい心配な子どもがいると連絡がありました。教育委員会で確認したところ、ヤングケアラーとまではいかないような事例でした。問題なのは、子どもたち自身が、自分がやっていることがヤングケアラーに該当するという自覚がないということです。市では、ヤングケアラーに関する講習会を開き、子どもたちに、自分たちだけが負担するものではなく、もっと助けを求めて良いことなんだ、ということを発信することが重要だと考えています。茅野市としては、ヤングケアラーについて見落とすことなく、対応していきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>本日、初めてこの会に参加させていただいて、茅野市の人権に関する施策がこんなにあるんだ、例えばアイヌの人に関することなど、私たち自身はそれほど感じたことのないことも施策に含まれており、広いな、と感じました。</p> <p>民生児童委員をやらせていただいています。何か問題があっても当事者があまり民生委員に話をしない、当事者が直に市に相談に行くことが多いと聞いています。そうではいけないな、と思い、私たちももう少し困っている方の気持ちに寄り添っていかないとはいけません。</p>

委員

た。

私は、高齢者大学の関係でこの審議会に出させていただきます。高齢者大学のような活動に参加するようなお年寄り、とても元気です。ただし、高齢になると配偶者の方が亡くなるということが身近になってきます。高齢者大学のような活動に参加できないとか、配偶者をなくして困っているといった相談が市にあるのか、そういう相談を聴くようなシステムがあるのか、お聞きしたい。

事務局

介護保険の適用を受ける前の、介護予防という形で様々な教室を行ったり、様々なケアをさせていただいたりしています。

委員

これまで、配偶者が亡くなって困ってしまったというような相談は、なかったのでしょうか。

事務局

サービスセンターでそういった個別支援を行っています。制度の中でのことについては、サービスセンターで相談にのっています。サービスのはざま、潜在的な困りごとについては、地域を巡回する中で、サービスセンターの職員や社協の職員が見出したり、相談にのったりしていけば一番いいが、地域の中で支え合いの仕組みをつくっていくことが、これから大事になるのではないかと考えています。市の機関だけでは拾えないような方については、地域の中で支え合っていく仕組みをどうつくっていくのか、課題になっています。地域の皆様のご協力をいただく中で、そういった点を充実していければと思っています。

委員

これから団塊の世代がそういった境遇になることが大いに懸念されます。そういった点にも目を向けていただければと思います。

委員

新型コロナに関する問題について、全庁的に取り組んでいただき、ありがとうございます。先日、コロナで亡くなられた芸能人に対し、「あなたがコロナを感染させた」というような、本当の誹謗中傷の事案がテレビで放送されました。コロナは終息に向かっていますが、いつなごとき、誰が誹謗中傷にあうのか、そういった心配があると思います。ぜひ、全庁的に網を張っていただき、一人ひとりが楽しく豊かに暮らせる茅野市をつくり上げていただきたいと思っています。

委員

いずれの人権課題に対する取組についても、大変充実した取組ばかりだと感じました。印象に残ったのは、小学5年生の「奏でよう 個性という名の ハーモニー」という川柳です。素敵な川柳だと思うと同時に、私たち学校は、どんな人権教育を行ったら、こんな素敵な川柳がうたえるような子どもたちを育てることができるのだろうか、ということを考えさせられました。学校にとって、人権教育は、全ての教育活動の中で行われるものです。その中で、一人ひとりの個性を大事にできる子どもを育てていく責任が学校にあるということを改めて実感し、こんな素敵な川柳を奏でられる子どもを育てていきたいと強く思いました。

委員

多岐にわたる仕事の中で、これだけ細かいところまで施策を考えていただいて、ありがたいと思います。こうしたことで我々が守られているのではないかと思っています。経済界という点で言わせていただくと、今、人材不足という点が非常に大きな問題になっています。その中で、我々も女性が働きやすい環境整備、あるいはシニア世代や外国人労働者が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。茅野市もそういった方たちのために様々な施策を行っていただいている、大変ありがたく思っています。商工会議所も一緒になって取り組んでいければと思っています。

副会長

人権擁護委員の活動の中で、人権相談が年4回あります。一般の困っている方に相談に来ていただき、困っていることを聞いて、市役所や法務局などに繋げていく活動をしています。コロナがあり、昨年、一昨年は相談件数が減っていましたが、人権そのものに対する相談というよりは、自分に関わって困っていることの声を受けて解決に向けてつなげていく活動ができればと思っています。

また、子どもたちの声を聞くことも私たちの活動の一つで、SOS ミニレターというものを小中学校に配って、困ったことがあったら、そのまま郵便に出せて、法務局に届くような形で相談を受け付けています。茅野市に関係する子どもたちの相談内容は、私たちのところにも来るので、手紙の内容を拝見して、子どもたちの困っていることを感じて、答えられるようにしています。5月、6月くらいに学校に配られるので、今ちょうど相談を書いている子どももいると思います。これからお手紙を拝見して、返事を書くこととなりますが、学校に相談することもありますし、法務局で関係機関につなげていくこともあります。子どもには、困っているときは、誰かに相談できるんだよ、ということを知ってもらえると良いと思います。

もう一点、人権擁護委員では、小学校の朝読書の時間に人権読み聞かせというものをやらせてもらっています。全部で97クラスに入るが、低学年には、紙芝居の読み聞かせ、高学年には、中学生が書いた人権作文の優秀作品を選んで読み聞かせをさせていただいています。子どもが真剣に聞いている姿を見ながら、こういった一つひとつの細かい活動が大事なんだ、その辺をお手伝いできればと思います。

会長

茅野市の高齢化率が、今年の4月で31.5%と聞いて、茅野市も3割が65歳以上なのか、と改めて認識しました。高齢者大学などで元気に活動されている高齢者の方もたくさんいると思います。私の実感から、女性はとても元気ですが、私も含め、男性、特に一人になってしまった男性が多くなっているような気がしまして、一人暮らしの男性がどれだけ「困った」という声を上げられるかどうか、そこへ目を向けられるかどうか、関心がありました。

LGBT 関係については、様々な意見があるとは思いますが、長野県では、8月1日からパートナーシップ制度が始まるということをお聞きしました。そういった制度を進めていただけることについてもありがたいこと

だと思いました。

最後に、保護司という仕事は、刑務所や少年院を出た方の社会復帰のお手伝いをしているわけですが、私の担当している方の中に、精神障害をもって刑務所から出てきた方がいました。また、年々、高齢化していると感じています。あと、薬物で犯罪を犯す方も増えています。そういった方の更生はとても難しいです。そういった方は、就職することも大変です。精神疾患を持っているとなお大変です。そういった方を市に相談して、専門の方につないでいただき、就労につながった事例もあります。相談する場所があること、そして、その相談する場所を知り得たこと、専門家につないでいただいたことがとてもありがたかったです。

会長

#### 6 閉会

市では、多岐にわたる施策を進めていただいております。今後も、市民として人権に関心をもっていきたいと思います。

本日の審議会は、以上をもって終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。